

開講科目名 Course	憲法研究（Ｂ） / Constitutional Law（Ｂ）
時間割コード Course Code	13280
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	他 5
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	水島 玲央
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	水島 玲央（法学部）
授業の目標	
授業の概要	<p>授業の概要</p> <p>【授業の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法が権力者を制限して国民に権利を保障するためのものであるということをまず理解する。 ・憲法が保障する権利をしっかりと理解し、自分の身を自分で守れるようにする。 <p>【授業の概要】</p> <p>近年、憲法の改正について議論されています。「憲法」といわれてもあまり身近に感じない方々も大勢いらっしゃるかもしれませんが、私たちが日頃あたりまえのように享受している「自由」や「人権」といったものは、現在の日本国憲法によって保障されているからであり、欧米先進国や日本以外の国々のなかには、こうした「自由」や「人権」といったものが十分に保障されていない国々もまだ多くみられます。この講義を通じて、憲法が私たちの日常生活においてどれだけ重要なものであるかを理解していただければと思います。</p> <p>【授業計画】</p> <p>以下のとおり計画しているが、授業の進度が学生の興味によって変更もありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 経済的自由権（１）職業選択の自由、居住・移転の自由 3. 経済的自由権（２）財産権 4. 人身の自由 5. 国務請求権と参政権 6. 社会権 7. 国会（１）衆議院と参議院 8. 国会（２）国会の権能 9. 内閣 10. 裁判所 11. 財政・地方自治 12. 憲法の保障 13. 憲法改正 14. 比較憲法 15. まとめ <p>定期試験を実施する。</p> <p>【評価方法】</p> <p>受講態度（課題を含む）（50％）、最終レポート（50％）</p>
評価方法	

教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法 第七版』（岩波書店・2019）
参考書	判例集、小型の六法など
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	